

# 3

## のし紙・のし袋

(招待者側)

練習帳

P.23~25

冠婚葬祭用ののし紙、のし袋の表書きは、楷書か、楷書に近い行書で書き、ボールペンやサインペン、青インクのペンなどは軽々しい印象を与えるので使わないようにします。とくに慶事、祝事は墨色を濃くし、インクがかすれないように注意します。

### 表題のいろいろ

のし紙やのし袋の水引きより上に書くことばを表題といいます。用途ごとに表題が異なるので、注意して書きましょう。

結婚祝い、結婚祝いのお返しや、仲人へのお礼にも使える「寿」のほか、

結婚祝いには「御歡」「御祝」「祝御結婚」「御結婚御祝」なども使います。

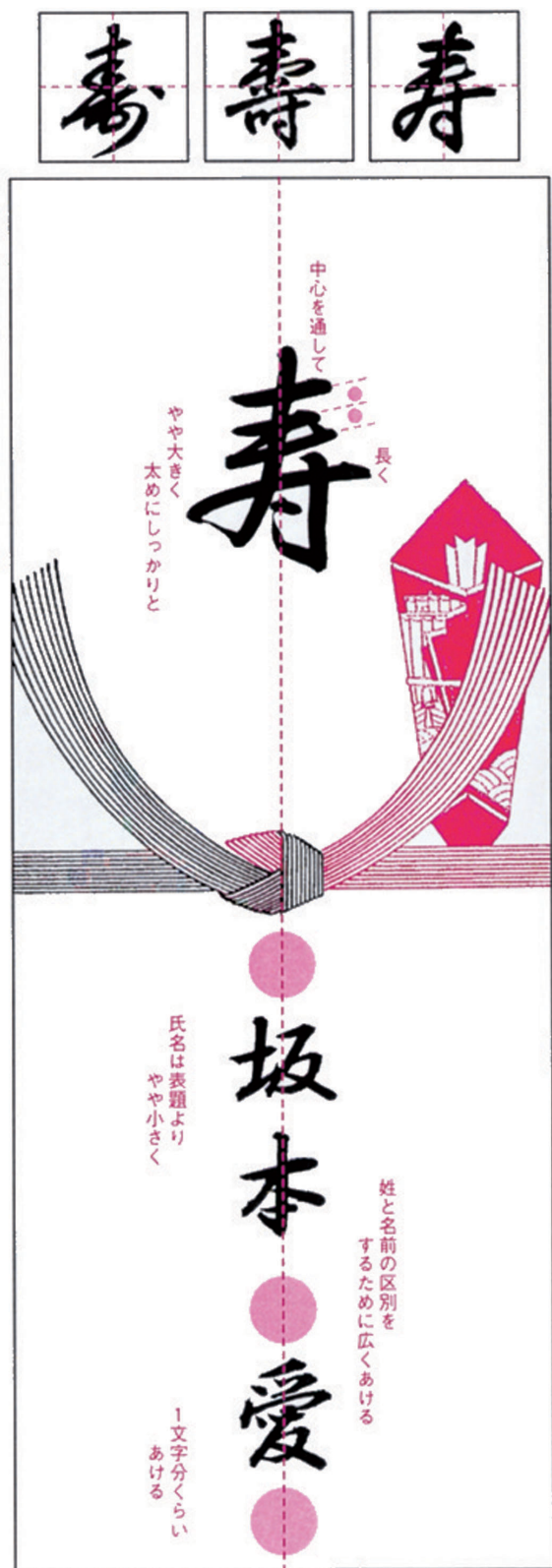
「寿」は1文字なので、バランスよく収まるように表題を書くスペースのちようど真ん中に書くか、真ん中より少し上に、大きめの文字で書きます。

氏名は水引きの結びめの下から、1文字分あけて書きはじめ、下端より1

文字分上までに収めます。

夫婦連名の場合は、夫の名前を中心に書き、妻の名前は左にやや小さめの文字で名前だけを書きます。

3名の連名の場合は、目上の人から順に右から並べ、書き手の名前はいちばん左に書くのが一般的です。中心から書くと収めやすくなります。



□ 表題はしっかりとした文字で。墨色を濃くし、インクがかすれないように注意する。